

## 言葉ではなかなか言えない家族への感謝の気持ち

大関 月聖

私には妹弟がたくさんいます。私をふくめて五人です。毎日がさわがしく、一番上とあつてみんなの手に、まともに、と言われ正直うんざりすることもあります。

それでも妹弟がたくさんいて良かったと思うこともあります。留守番をしてもさみしくならないこと。

何かイベントをする時に妹弟だけでもりあがれること。辛いことがあつても一人で落ちこみ、ふさぎこむことがないこと。

そして、震災があつた時に強く、励ましあえたことです。その当時、妹たちはまだ幼く、学校に行っている私以外は母といました。突然の大きな地震。体験したことのない恐怖。母が息を切らし迎えに来てくれた時はすごく安心しましたが、それよりも避難している車の窓を開けて大声で、「お姉ちゃん！おかえり」と、笑顔で迎えてくれる妹弟を見て改めて私は、へああ、大丈夫。自分は大丈夫と涙が出ました。何が大丈夫と思つたのか、今も良く解りませんが、本当にその時は大丈夫と思う心に強くなれました。

その後、余震が続き、水も無い日が続きましたが、何もな  
い中でもみんな歌ったり、手遊びしたり、片付けを分担し  
たりとキャンプ気分で乗り越えられたのも、妹弟がいたから  
だと思います。

普段は怒つてばかりでつい、妹弟にあたってしまうこともあ  
るけれど、私はみんながいてくれてはじめて私でいられます。

「生まれてくれてありがとう」

「私らしくいられるのはみんなのおかげです。」

「妹弟でいてくれてありがとう」

お姉ちゃんとして強くいられるのはみんなのおかげです。

そして最後に、妹弟をたくさんしてくれたお母さん、毎  
日私達の為に働いてくれるお父さん、

「本当にありがとう」

なかなか照れくさくて言えないけれど、私はすごく感謝  
しています。

これからもお姉ちゃんとして、娘として、楽しく強く頑張  
ります。

「お姉ちゃんにしてくれてみんなありがとう。」